

# 写真教室開催



福岡の魅力的な景観が、  
子ども達を名カメラマンにする。  
「夏休みこどもまちなみ写真教室」を開催

夏休み真っ只中の8月5日、子ども達を対象にした写真教室が開催されました。集まったのは小学生20人とその保護者の皆さん。当日は写真家の藤本健八氏と九州産業大学芸術学部写真学科の百瀬俊哉教授そして百瀬研究室の学生の皆さんが中心となって、撮影を手ほどきしてくれました。カメラの歴史から始まって使い方や撮影のポイントについてミニ講義を受けた子ども達は、本格的な一眼レフデジタルカメラを手に少し緊張気味。その後、5人1組で4グループに分かれて福博のまちへと出発しました。

観を切り取っていく子ども達は、時間が経つにつれ撮影に夢中になっていく様子。真剣な表情の一方で、満面の笑顔がこぼれます。こうして全コースを巡った後は、おやつ休憩をはさんでパソコンで画像をチェック。子どもならではの感性と視線で捉えられた景観は、どれも思いがけないほどの名ショットが目白押しで、指導に当たった学生の皆さんも感心しきりです。それぞれが「まちなみ写真コンテストキッズ部門」に応募するベスト作品をセレクトして楽しい1日は終了しました。参加した皆さん、これからも福岡の景観を名カメラマンの視線で楽しんでください。



子どもならではの感性と視線で、名ショット続々!



子ども達は、  
こんな場所でカメラを構えました

- ◎赤煉瓦文化館◎アクロス福岡◎川端商店街◎貴賓館◎櫛田神社◎市役所◎水鏡天満宮◎水上公園◎中央公園◎出会い橋◎「博多町家」ふるさと館◎博多リバレイン◎冷泉公園 (アイウエオ順)

普段だったら見過ごしてしまうような事や物に興味があったようですね。写真を見るとみんなが自分の視点を大切に撮影したことがわかります。これからカメラを持って外を歩いてみよう。新しい発見が君をまっているよ。

百瀬俊哉 profile

写真家として20年以上にわたり世界の都市を撮影している。そして九州産業大学の芸術学部で写真の先生もしている。



元気いっぱいの空とまち  
B.Y

【撮影場所】百道浜  
【撮影日】平成24年9月  
【撮影者コメント】元気な雲と元気なまちが互いに引き立て合うようです。  
【講評：井上委員】大空のキャンパスに落書きをしたような元気で力強い白い雲のタッチ、刻々変わる雲のパターンの面白さを見つけた眼が素敵です。ビルやタワーを小さく画面の下に、そして大きく、大きく、空を取り入れた構図はとても気持ちのいい作品です。



昔ながらの郵便ポスト  
眞子 弘士郎

【撮影場所】博多町家ふるさと館  
【撮影日】平成24年8月  
【撮影者コメント】最近は見られない形のポストと背景にふるさと館の建物を写しました。  
【講評：池田委員】画面の手前に思い切り大きく赤いポストを配した大胆な構図が面白い。背景のふるさと館と相まって懐かしい風景を写し出している。撮影者は子どもであり、このポストが現役だった時代を知らない。現代にポストと残ったポストの形に好奇心をそそられてシャッターを切ったのだろう。

# まちなみ写真コンテスト

【キッズ部門・優秀作品】



天神小路  
油布 茉里愛

【撮影場所】水鏡天満宮  
【撮影日】平成24年8月  
【撮影者コメント】赤のところをきれいに目立たせたいと思い撮りました。  
【講評：佐藤委員】水鏡天満宮横の小路。天神さまの赤と店舗2階の手すりの赤が対になって見える。何回か通ったことがあるが気がつかなかった。下から仰ぎ見ることによって発見した赤と赤の重なり、作者のするどい感受性を見た。



悪い子 いないか  
牟田 直大

【撮影場所】櫛田神社  
【撮影日】平成24年8月  
【撮影者コメント】僕は悪い子じゃないのでカメラを向けて答えました。  
【講評：藤本委員】狛犬に見下ろされたと感じた作者は「僕は悪い子じゃないのでカメラを向けた」という。なるほど正面真下からのアングルで狛犬の顔は威嚇に満ちて見えるのだが、角が切れなければもっと威力が感じられたと思う。物の形をどう撮るのか考えてみよう。